

東ト協鉄鋼専門部会／トレーラ安全フォーラム

車両制限令 順守よびかけ

健康管理で事故防止

【東京】東京都トラック協会の鉄鋼専門部会(瀬尾君雄部会長)は13日、トレーラの安全対策フォーラムを開き、ドライバーの健康

に起因する事故防止の取り組みや、車両制限令違反に対する指導取り締まりの現状と課題について講義を受けた。

瀬尾部会長が「一般のドライバー以上に物流事業者は道路を大切に使う責任があると思うので、最低限の法令順守に甘えてはならな

い。積み付けに関する基準のハードルを更にするべきだ」と、車両制限令の一



「最低限の法令順守に甘えてはならない」と瀬尾部会長

層の順守に向けた取り組みを提唱。また、「ドライバーに対し、アルコールチェック並みの健康管理ができれば事故は減っていく。今回のフォーラムを節目に安全確保に努めて欲しい」と呼び掛けた。

ヘルスケアネットワークの作本貞子理事長が「ドライバーの健康起因による自己防止健康と安全は車の両輪」をテーマに講演。定

期健康診断の受診とデータ分析により、心筋梗塞(こうそく)など健康起因による事故は未然に防げることを強調した。
日本高速道路保有・債務返済機構の鵜狩修・総務部企画審議役は、車両制限令違反に対する指導取り締ま

りの現状と課題について解説。違反そのものは減少傾向にあるものの、積載オーバーなどで措置命令を受けた数に大きな変化は無く、輸送品目では「コイル」が引き続き多いことを説明した。

日本自動車工業会の中島雅也氏がトレーラ火災のメカニズムや、事故防止に向けた点検・整備などの取り組みを報告。日鉄住金物流の高村明史・基地陸運本部企画課管理部課長が、トレーラ走行中に発生した火災への対策を話した。(田中信也)